

愛媛新聞に掲載されました。

2000年(平成12年)10月2日(月)の愛媛新聞に記事が掲載されました。

(掲載許可番号・G200021001-00001)

◆鍼灸学修士の称号を持つ

新名 頼子さん(三三)

松山市竹原三丁目



鍼灸(しんきゅう)専門(ん)ヘルニアの患者が手術の大学・明治鍼灸大大学院前に鍼(はり)治療で手術(京都府)を四年前に修了。が不要に。「東洋医学はス 同大に入学した。

四国)でただ一人、鍼灸学修士を持ち、自宅で鍼灸院を開業する。元々は病院の看護婦。椎間板(ついかんぱ)「西洋と東洋で医学理論

がまったく違うので、勉強病気を抱える人まで、さまは大変だった」。専門性をさまざまな患者が訪れている。さらに高めたいと、大学院へ。修士論文ではラットを使い、鍼による刺激で傷口の腐りを抑える効果をまとめた。研究成果を米国で開かれた世界鍼灸学会で発表したこともある。

病院看護婦から転身

鍼灸院には肩こりから、西洋医学では治療が困難な健康に向かって進む車の両輪の関係でありたい」と意欲的だ。